



# Picture(s)

Tanaka Kazuhito

2023.2.25 — 3.19

Gallery P A R C  
GRAND MARBLE



参考画像 《Picture(s) #27》 2022 Acrylic and analog chromogenic print on canvas (with acrylic frame) 343×253×68mm (frame size)

展覧会名 **Picture(s)**

Tanaka Kazuhito Exhibition

出展作家 **田中 和人 | Tanaka Kazuhito**

会 期 **2023年2月25日[土] ~ 3月19日[日] 13時から19時まで 水・木休廊 / 入場無料**

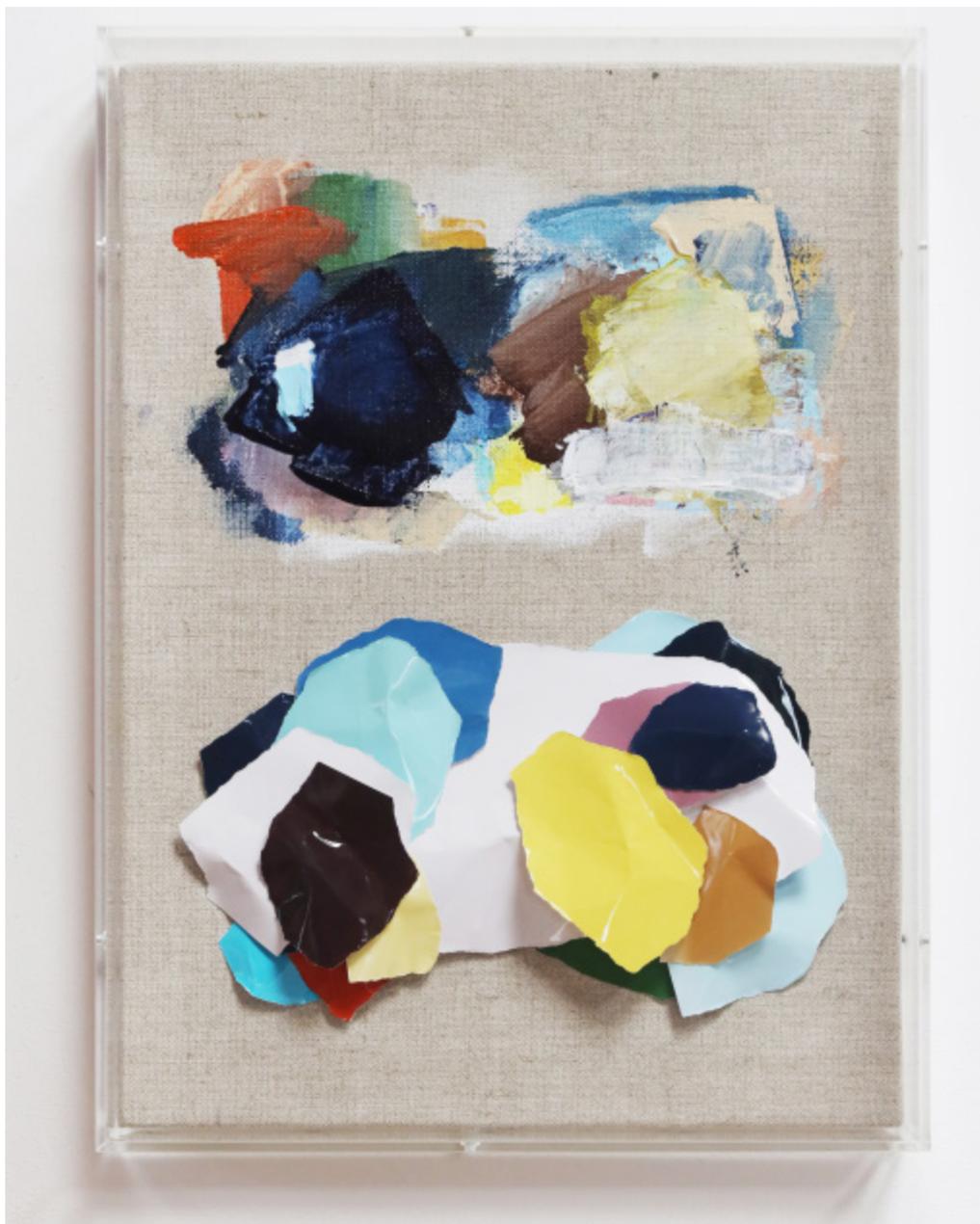
会場・主催・お問い合わせ

**ギャラリー・パルク**

602-8242 京都府京都市上京区皂莢(さいかち)町 287 堀川新文化ビルヂング 2階 **MAP**

075-334-5085 / [info@galleryparc.com](mailto:info@galleryparc.com) / [www.galleryparc.com](http://www.galleryparc.com)

○地下鉄烏丸線「丸太町」・「今出川」駅より徒歩約20分 ○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩約18分 ○京都市バス9番・50番(JR京都駅から約22分)・12番(阪急烏丸駅から約15分)・67番(阪急大宮駅から約12分)系統「堀川中立売」バス停下車徒歩1分 ○駐輪場・駐車場 有 ※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。



参考画像 《Picture(s) #36》 2022 Acrylic and analog chromogenic print on canvas (with acrylic frame) 343×253×68mm (frame size)

## Picture(s) 田中 和人

Tanaka Kazuhito Exhibition

Picture(s) - 抽象的なペインティング。そして、暗室で露光され、様々な色に発色した印画紙(カラーフォトグラム)の構成。アクリルボックスが彼らの運命を封印する。その平面上に、ヒエラルキーはない。彼らは、メディウムとしての差異をそのまま提示しながらも、共存し、影響し合う。メディウムの歴史上の緊張関係を解放するカンパセーション。破かれ、折りこまれたフォトグラムは重なり合い、キャンバスから浮遊する。それらは、絵の具のストロークを模倣しながらも、その色や彫刻的な形態は、より鮮やかに。

絵画、あなたは誰？ 写真、あなたは誰？ あるいは、私は誰？ 形象を持たずに。

本展覧会では、最新作「Picture(s)」を中心に、これまで取り組んできた他の複数のシリーズ作品を同空間に展示することで、俯瞰的かつ有機的に、制作活動の全体像を浮かび上がらせることを試みる。

田中 和人

田中 和人 Tanaka Kazuhito

<https://www.kazuhitotanaka.com/>

1973年埼玉県生まれ。アーティスト。sodaディレクター。

明治大学商学部卒業後、会社勤務を経て渡米。2004年 School of VISUAL ARTS(ニューヨーク)卒業。写真と絵画の関係性を軸に、写真による新しい抽象表現を探求し、国内外で作品を発表。また、京都ベースのアーティスト・ラン・スペース「soda」のディレクターを務め、展覧会の企画にも取り組む。現在、京都と福岡を拠点に活動中。2011年 TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD グランプリ受賞。

主な個展に、2022年「Picture(s)」(KANA KAWANISHI GALLERY、東京)、「Picture(s)」(Paris London Hong Kong、シカゴ)、2019年「Self-Dual」(Galley PARC、京都)、2018年「GOLD SEES BLUE」(Maki Fine Arts、東京)、2017年「トランス/リアル - 非実体的美術の可能性 vol.7 田中和人」(αM、東京)、2015年「pLastic\_fLowers」(Maki Fine Arts、東京)、「high & dry」(Gallery PARC、京都)など。

主なグループ展に、2021年「Foreland」(Foreland、キャッツキル)、「Never the Same Ocean」(soda + HAGIWARA PROJECTS、東京)、「風とイメージ」(Sprout Curation、東京)、2019年「S/F -写真、あるいは、200年後のモノリス-」(KAYOKOYUKI + soda、東京)、2016年「TAMA VIVANT II 美術-あいまいなパラダイム」(多摩美術大学、東京)、2015年「NEW BALANCE #3」(XYZ collective、東京)、「hyper-materiality on photo」(G/P gallery shinonome、東京)など。



参考画像 《PP #15》  
2020

Acrylic, oil and analog chromogenic print on canvas (with acrylic frame)  
appro× 652×500mm



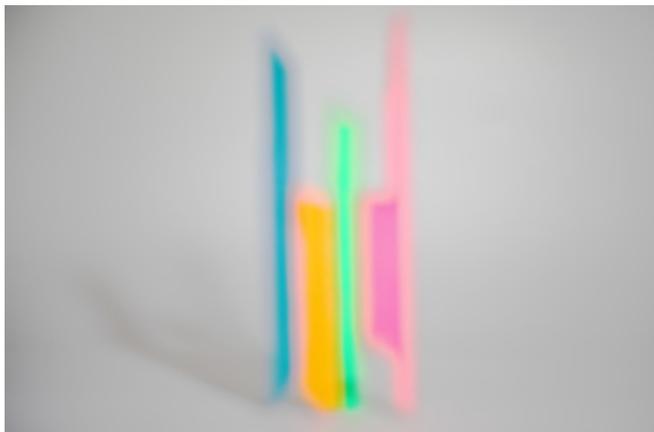
参考画像 《Land #17》  
2020

Inkjet print  
483×329cm (Sheet size)



参考画像 《pLastic\_fLowers II #20》  
2017

Chromogenic print  
457×560mm (sheet size)



参考画像 《 blocks (light) #1 》  
2013  
Chromogenic print  
600×900mm



参考画像 《 GOLD SEES BLUE #1 》  
2009  
Chromogenic print  
600×900mm (image size)

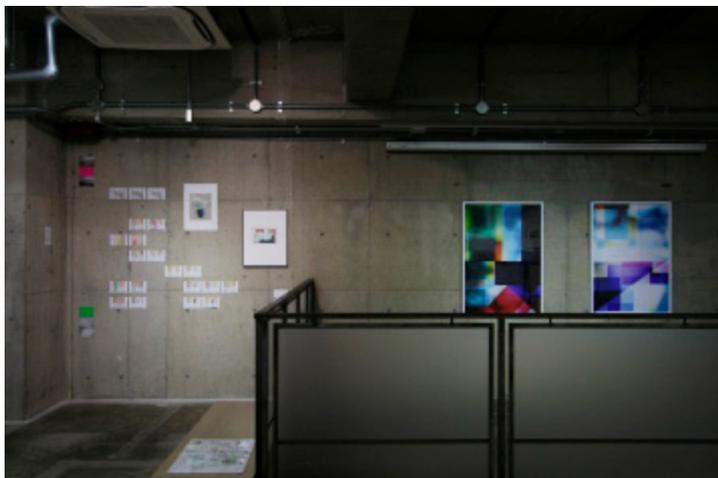
Gallery PARC での展覧会



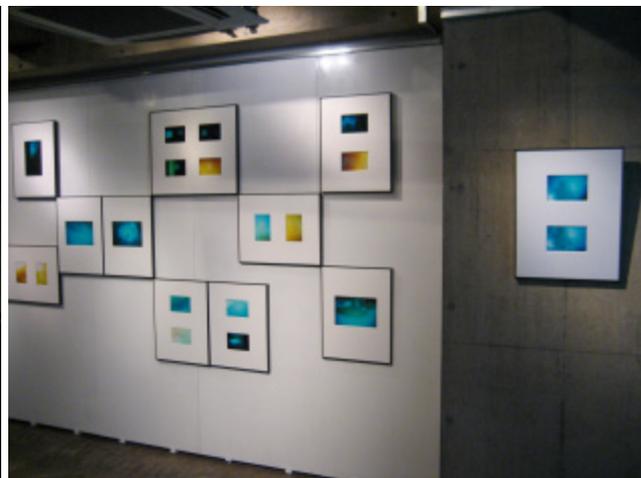
「Self-Dual」(2019) 展示風景



「Self-Dual」(2019) 展示風景



「high & dry」(2014) 展示風景



「GOLD SEES BLUE \_ KYOTO展」(2010) 展示風景